



2015年9月25日 アビジャン

PRESS RELEASE (ご参考)

**仏CFAO社、HEINEKEN社とコートジボワールに新合弁会社BRASSIVOIREを設立、
ビール醸造所の定礎式を実施**

2015年9月25日、HEINEKENとCFAOは、コートジボワールにおいて合弁会社BRASSIVOIRE(ブラシボワール)を設立し、同国でビールの生産・販売を行うことを発表しました。BRASSIVOIREへは、HEINEKENが51%、CFAOが49%出資しています。

また同日、HEINEKENとCFAOは、コートジボワールのダニエル・カブラン・ダンカン首相兼経済財務予算相およびジャン・クロード・カシ・ブルー産業鉱業相のご臨席のもと、新たなビール生産拠点の定礎式を行いました。

最新技術を採用するこの新しい醸造所は、アビジャン北部の工業団地 PK24 の入居企業第一号となります。HEINEKEN と CFAO は、1,000 億 CFA フラン (約 1 億 5,000 万ユーロ) を投資する予定です。醸造所は年間 1 億 6,000 万リットルの生産能力を備え、国内市場向けに「Heineken®」をはじめとする HEINEKEN 社ブランドのビールを醸造します。初回製品は 2017 年の年頭となる見通しです。

今回の大規模な投資により、BRASSIVOIRE が創出する直接雇用は約 700 人、間接雇用は 4 万人を超える見通しで、コートジボワールの経済発展に貢献します。

BRASSIVOIRE はまた、ビール生産に必要な原材料となる農産物を現地調達するプロジェクトの立ち上げも検討しています。このプロジェクトは、地域農家の生産量だけでなく、スキルや生活水準の向上にも寄与することを目的としています。HEINEKEN は、2020 年までに原材料となる農産物の 60%をアフリカで調達するという大きな目標を掲げ、アフリカの成長のパートナーとなることを目指します。

今回の BRASSIVOIRE の設立に際し、HEINEKEN と CFAO は、コンゴ共和国にて行っている合弁会社 BRASCO での 20 年にわたり培ってきた強みを再び結集させます。

HEINEKEN International のアフリカ・中東・東欧地域担当社長である Roland Pirmez (ローランド・ピルメズ) 氏は次のように述べています。「CFAO と共に、成長が期待できるダイナミックな新市場であるコートジボワールに進出できることをうれしく思います。今回のプロジェクトは、

コートジボワール政府の積極的な協力によりスピーディに進められました。当社は、アフリカにおけるパートナーとして共に成長を目指します。新しい醸造所の操業は、コートジボワールの経済と社会のさらなる発展に寄与するでしょう。」

CFAO FMCG Industries & Distribution の CEO である Marc Bandelier（マーク・バンドリエ）は次のように述べています。「BRASSIVOIRE は、当社の強力かつグローバルなブランド力に加え、アフリカで長年培った流通網とネットワークに関するノウハウのたまものです。当社は、メジャーブランドの発展を支えることで、最先端の製品を求める中間所得層の躍進が目覚ましい新興市場への進出を支援します。」



新会社 BRASSIVOIRE ロゴ